

全国々公立幼稚園長会

水戸大会をおえて

戦後十年にしてようやく「幼稚園教育要領」「幼稚園設置基準」「幼稚園指導要録」の三つが指示されたが、これらはいずれも、現場で実践に移すには、さらに具体的な研究を必要とする諸問題が残されており、われわれ直接経営を担当し、幼児教育の実際に当たっているものによって解決を与えなくてはならない事項が多い。この時機に際し全国々公立幼稚園長会は五月三十・三十一の両日、水戸市三の丸幼稚園に第八回の総会と研究協議会を開いて全国から参集し、問題解決の研究討議を行い、相携えてわが国幼稚園教育の振興発展に協力を誓いあった。その際における協議題および研究発表について考えて見ると、現下における国公立幼稚園に関連する問題の方向を察知することができるとかと思う。

- 1 幼稚園設置基準の完全実施促進の具体策について
- 2 幼稚園教員待遇改善の方策について
- 3 幼稚園の行事はどのように考えたらよいか
- 4 政府より脱脂肪乳および小麦粉を幼稚園に配給せらる、よう法的処置を講ぜられたこと

一通り提案者の熱心な理由の説明を終り、会員からの質問、意見を述べて後、それぞれ委員付託とし、各処理委員の作製した原案を報告し、研究討議の未いずれも議決せられた。その後理事会で検討を重ね委員会を構成してその目的達成に努力しつつある。

次に研究発表の題目を見ると、

- 1 保育室の工夫 名古屋市立第一幼稚園長 渡辺ナホ
 - 2 健康保育を主とした遊具の研究 堺市立第二幼稚園長 入間綾子
 - 3 教育課程について 大分市立南大分幼稚園長 田所正義
 - 4 園長は職員をいかに指導すべきか 岡山市立旭東幼稚園長 藤原夫佐
- 園長として日々経営の多忙な中に、現下における重要な問題について、長い日時を費やして、調査し、研究し、実践した結果を、こうした機会に広く発表して多数でもって研究討議することはまさに意義深いものがあると思う。園長は園の経営に忙殺させられているだけで、教育の実際にまでは手が延びないというのが実情ではあるけれども、そうした多忙の中に時間を見出して、こうした研究を重ねて行くことは、

教諭の方々の指導面からも望ましいことである。

園長会はここに協議題として取りあげられた諸問題の解決を推進するために次の委員会を設けて、本年はこれら各委員会の活発な動きによって、解決への努力をすることにした。

調査研究委員会——各委員会の活動の基礎となる調査研究をする。

広報委員会——会の状況の連絡報告などを編集して毎月会報を発行する。

渉外委員会——次の六つの専門委員会を設けてそれぞれ活動をする。

待遇改善専門委員会——幼稚園教諭の待遇改善のための法改正。

予算獲得専門委員会——施設、設備、その他幼稚園関係予算の獲得。

運賃割引専門委員会——鉄道旅券運賃の割引復活。

設置基準完全実施推進委員会——新しく公示された設置基準を完全に実施するために具体的措置。

給食実施促進専門委員会——小学校同様に給食用の粉、小麦粉の配布を受けるようにする。

国立大学附属幼稚園整備促進専門委員会

附属幼稚園の増設、学級増、定員増、幼児費などについて整備する。

これら委員会による活動によって幼稚園関係の諸問題を解決し、幼稚園教育の能率をあげ成果を一層大きくしようと、全会員で協力することを誓いあった(小林操記)